

》》 若手職員インタビュー ③

ハローワーク宇治 職業相談部門
岡本さん（平成31年4月入省）



現在の業務内容を教えてください

現在は職業相談部門で勤務をしています。職業相談部門では日々、若年者の方からシニア世代の方まで幅広い年齢層の方の職業紹介・相談の対応を行ったり、未経験の業種だけ「この業種に就きたい!」と思われる方に職業訓練の説明を行ったりしています。求職者の方は一人ひとり持たれている悩みも違います。若年者であれば、そもそもどのような仕事に向いているかで悩まれたり、シニア世代の方では年齢で就職が決まりづらかったりとする中で、自己分析等を一緒になって考えたり、ご自身の経験面を活かせる職業と一緒に考えたりしています。また、職業紹介をする前に求人内容の仕事内容や条件面、事業所について本当に本人の希望にあっているものか、確認を心がけています。

業務でのやりがいはなんですか

一番のやりがいは、担当している方が就職された時です。ときにお礼を言うだけでいいこともあります。また、履歴書の作成から支援していた方が就職された際、ハローワークまで足を運んでいただき「ありがとうございました。」と言ってもらったことは、今でも覚えています。難しかった点は、自分より年齢の高い方もたくさん来られるので、きちんとその方に適した支援ができていないか不安になったこともあります。業務の研修や職場内でも周りに相談しやすい雰囲気があるのでとても良かったです。

これまでを振り返ってみてどうですか

これまでの人事異動では雇用保険業務を中心に業務を行ってきました。現在の職業相談の業務でも雇用保険関係の知識が必要になることもあり、過去雇用保険の業務をしていてよかったと思っています。基本的に2年の人事異動で新しい業務に就くことになるので最初は覚えるのが大変ですが、色々なことにチャレンジできるところは良いと思います。一見違う業務に見えても根本が「労働」に関する業務なので、後々どこかで役に立つので今後も色々な業務を経験していきたいです。

受験生の方へのメッセージをお願いします

私は元々公務員志望で何か人の役に立てればいいなと漠然と思っていたときに、仲の良い友人がなかなか就職先が決まらなかったことがあり「職業相談」に興味を持ち始めました。

労働局での業務は人と接する業務が多く、多岐にわたる業務内容なので覚えなれないことは多いと思います。同時に人と接するからこそ人の役に立てると思っています。「労働」に関することに興味を持っている方なら、京都労働局の業務説明会や官庁訪問に来てみてはいかがでしょうか。

